

あなたのくらしのすぐ下で

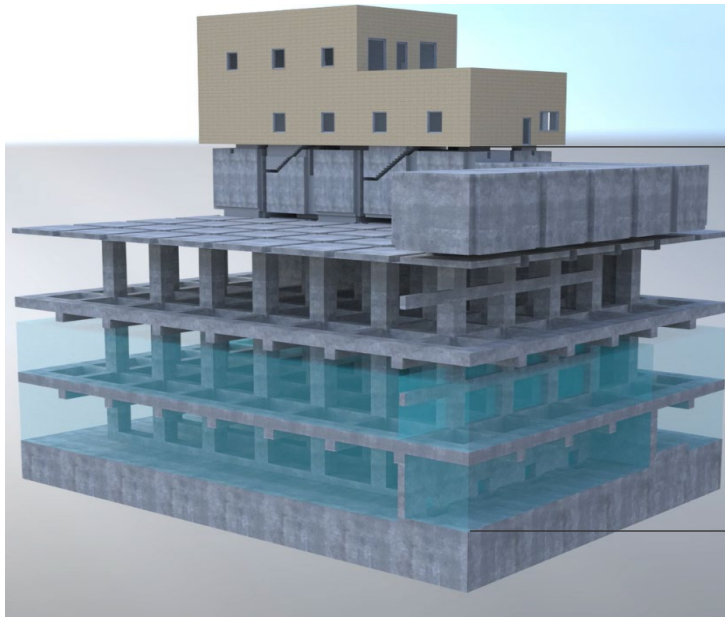
大雨による浸水から横浜のまちを守りました！

～約74万 m^3 （25mプール約2千杯分）の雨水を地下空間に貯留～

6月3日に、台風6号が襲来し、本市初の「レベル4大雨危険警報」が発令され、1時間雨量59.5mm、総雨量172.5mmを記録（中区北方出張所）するなど、広い範囲で大雨に見舞われました。

こうした状況の中、本市の雨水貯留施設では、合計約74万 m^3 の雨水を貯留するなど、これまでの整備による効果を発揮し、浸水被害の軽減につながりました。
今後も引き続き浸水対策を進めていきます。

地下貯留のイメージ『飯島雨水調整池(栄区)』



地上

約8,800 m^3
貯留されました！

地下 25.4m

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



令和8年6月3日 レベル4大雨危険警報（台風6号）における貯留実績

浸水被害低減効果一覧

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m ³)	貯留量 (m ³)	貯留率 (%)
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	160,250	39%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	259,310	100%
④ 川向雨水調整池	都筑	ポンプ排水	24,100	9,000	37%
⑤ 星川雨水調整池	保土ヶ谷	ポンプ排水	41,700	11,659	28%
⑥ 飯島雨水調整池	栄	ポンプ排水	15,600	8,800	56%
⑦ 蒔田雨水調整池	南	ポンプ排水	22,000	4,520	21%
⑧ 江川雨水調整池	都筑	ポンプ排水	17,000	8,390	49%
⑨ たちばなの丘雨水調整池	旭	ポンプ排水	7,000	5,610	80%
⑩ 金井雨水調整池	栄	ポンプ排水	6,000	3,780	63%
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑	ポンプ排水	54,000	26,060	48%
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑	ポンプ排水	19,000	5,450	29%
⑬ 相沢雨水調整池	瀬谷	ポンプ排水	56,000	16,600	30%
⑭ 北綱島第二雨水幹線	港北	ポンプ排水	72,000	72,000	100%
⑮ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見	ポンプ排水	6,500	3,010	46%
⑯ 万世雨水幹線	中、南	ポンプ排水	21,000	20,760	99%
⑰ 大岡川右岸雨水幹線	南	ポンプ排水	18,000	550	3%
⑳ 初音雨水幹線	南	ポンプ排水	7,500	7,460	99%
㉑ 初音雨水支線	南	ポンプ排水	2,700	2,700	100%
㉒ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭	ポンプ排水	40,000	220	1%
㉓ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭	ポンプ排水	8,000	80	1%
㉔ 二俣川1号雨水幹線	旭	ポンプ排水	13,000	110	1%
合 計			—	626,319	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m ³)	貯留量 (m ³)	貯留率 (%)
① 烏山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	1,228	3%
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	21,451	12%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	15,127	27%
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	ポンプ排水	65,000	11,050	17%
⑦ 宮沢遊水地	瀬谷	ポンプ排水	48,650	22,337	46%
⑧ 平戸永谷川遊水地	港南	ポンプ排水	37,900	22,355	59%
⑨ 名瀬川遊水地	戸塚	ポンプ排水	29,400	2,657	9%
⑩ 阿久和川遊水地	瀬谷	ポンプ排水	27,900	14,123	51%
合 計			—	110,328	—

総 計	—	736,647	—
-----	---	----------------	---

25mプールで換算： **1,965** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m=375m³

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- 2 その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。

次頁あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(参考1) 令和7年度の雨量貯留実績 (合計)

令和7年度の代表的な降雨としては、令和7年9月11日の大雨が挙げられます。この降雨では、1時間最大雨量111.5mm(中区北方出張所)を観測するなど非常に激しい雨となりましたが、貯留施設に約51万 m^3 の雨水を貯留することで、浸水被害の軽減を図ることができました。

また、令和7年度にこのような貯留施設に貯まった雨水の合計は、約149万 m^3 以上となり、ランドマークタワー1.1個分※にのぼる効果を発揮しました。

なお、大雨警報・氾濫警報が発令・解除されるたびに市ウェブページで降雨ごとに施設ごとの貯留効果を公表していますのでご確認ください。

※高さ296m×断面積4,400 m^2 とした場合



これまでの貯留効果

浸水被害軽減効果 (令和7年度)

No	日付	警報	時間最大雨量	貯留量 (m^3)
1	5月2日	大雨警報 (浸水害)	32.5mm/h	161,123
2	7月11日	大雨警報 (浸水害)	81.0mm/h	346,428
3	7月15日	大雨警報 (浸水害)	12.5mm/h	15,380
4	9月5日	大雨警報 (浸水害)	60.5mm/h	348,199
5	9月11日	大雨警報 (浸水害)	111.5mm/h	509,654
6	9月13日	大雨警報 (浸水害)	38.5mm/h	87,634
			合計	1,485,488

(市内全体の施設容量：約190万 m^3)

(参考2) 新たな防災気象情報

令和8年5月29日より、防災気象情報の運用が大きく変わりました。

「新たな防災気象情報」では、河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報に、レベル1から5の「警戒レベル」が付いて発表されるようになりました。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの)住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

※国土交通省の記者報道資料より

裏面あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(参考3) 貯留施設一覧

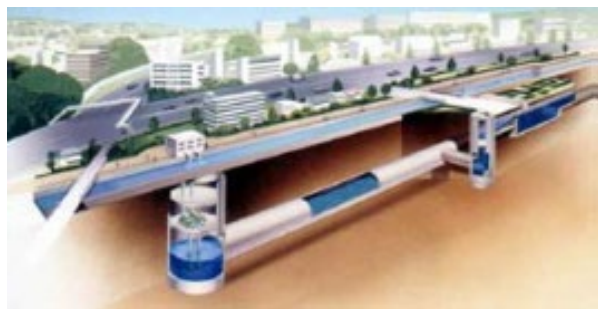
下水道施設名	行政区	施設容量 (m ³)	下水道施設名	行政区	施設容量 (m ³)
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	410,000	⑬ 相沢雨水調整池	瀬谷	56,000
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	256,000	⑭ 北綱島第二雨水幹線	港北	72,000
③ 新羽調整池	港北	89,000	⑮ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見	6,500
④ 川向雨水調整池	都筑	24,100	⑯ 戸部雨水幹線	西	11,000
⑤ 星川雨水調整池	保土ヶ谷	41,700	⑰ 神戸雨水幹線	保土ヶ谷	1,500
⑥ 飯島雨水調整池	栄	15,600	⑱ 万世雨水幹線	中、南	21,000
⑦ 蒔田雨水調整池	南	22,000	⑲ 大岡川右岸雨水支線	南	18,000
⑧ 江川雨水調整池	都筑	17,000	⑳ 初音雨水幹線	南	7,500
⑨ たちばなの丘雨水調整池	旭	7,000	㉑ 初音雨水支線	南	2,700
⑩ 金井雨水調整池	栄	6,000	㉒ 下倉田第二幹線	戸塚	8,200
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑	54,000	㉓ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭	40,000
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑	19,000	㉔ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭	8,000
			㉕ 二俣川1号雨水幹線	旭	13,000
合 計					1,243,300

河川施設名	行政区	施設容量 (m ³)	河川施設名	行政区	施設容量 (m ³)
① 鳥山川遊水地	神奈川	44,000	⑥ 和泉遊水地	泉	126,000
② 梅田川遊水地	緑	20,900	⑦ 宮沢遊水地	瀬谷	48,650
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	178,000	⑧ 平戸永谷川遊水地	港南	37,900
④ 舞岡川遊水地	戸塚	55,200	⑨ 名瀬川遊水地	戸塚	29,400
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	65,000	⑩ 阿久和川遊水地	瀬谷	27,900
合 計					632,950

(参考) 貯留施設の例



新羽末広幹線（下水道施設）
施設容量：410,000 m³



今井川地下調節池（河川施設）
施設容量：178,000 m³

お問い合わせ先

(下水道について) 下水道河川局下水道計画課長 中村 Tel 045-671-2613
(河川について) 下水道河川局河川流域管理課長 石井 Tel 045-671-2819



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

